

# 創作サークル arte

イラストや小説を中心に、多彩な創作に励むメンバーが集う「アルテ」。表現の意欲にあふれる彼らはまた、異なる個性をもつ者同士の活発な交流も楽しんでいます。



副会長

環境学部  
環境創生学科 2年  
三浦桂吾さん

会計

デザイン・データ科学部  
デザイン・データ科学科 2年  
前原祐太郎さん

会長

環境学部  
環境創生学科 2年  
本橋未来さん

部員 (次期会長)

環境学部  
環境経営システム学科 1年  
沼田夏菜さん

## 小説にイラスト、果ては剣まで!? ジャンルを問わず創作を楽しむ

2005年横浜キャンパスで発足した「アルテ」は、“創作”を掲げるユニークなサークルです。部員は横浜キャンパスと世田谷キャンパスを合わせて、約70名が在籍。イラストや小説の制作を中心に、中には料理に励むメンバーもいるといいます。

創作は基本、各々が自由に励むスタイルですが、「毎年、夏と冬にはテーマを決めて部員からイラストや小説などを募り、一冊にまとめた部誌を『コミックマーケット』に出展しています」と、会長の本橋さん。2024年夏の部誌のテーマは『スチームパンク』（※蒸気機関が支配する世界を描くSFジャンル）で、副会長の三浦さんはスチームになぞらえ『ヨモギ蒸し』の体験レポートを寄稿したというから、クリエイションの幅広

さがうかがえます。

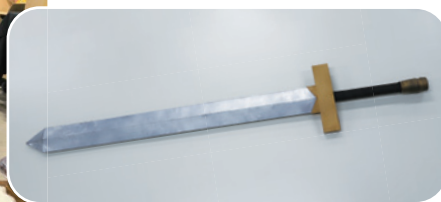
横浜キャンパスの教室で行う普段の活動は、部員同士の“コミュニケーションをつくる”のも創作のうち。「ボードゲームを持ち寄って皆でやってみたり、アナログなゲームをよく楽しんでいます。その横で小説を書いている人もいれば、一緒に絵を描いている人もいます。皆が思い思いに楽しんでいるのが、アルテらしさだと思います」と、本橋さんはいいます。1年生の沼田さんも、「アルテは“たまり場”的な居心地のよさがある場所。一人でも創作はできますが、人と人との交流があったほうがもっと楽しめますし、創作意欲も上がります。アルテの皆と出会うことができて本当によかった」と、活動を漫喫している様子でした。

ちなみに写真左下の“剣”は、倉庫に眠っていたというOBの創作物。アルテ内では「伝家の宝刀」と呼ばれていて、学園祭などのイベント時に展示しているといいます。柄の先端は、なんとヤクルトの空き容器。「あまりによく出来ているので、

作者のOBの方が来たときに作り方を質問攻めしました」と笑う本橋さん。創作の種はどこにでも眠っているようです。



夏のコミックマーケットにて。このときは「スチームパンク」をテーマにした部誌を制作して販売。表紙イラストは沼田さんの作。



「伝家の宝刀」として愛される、OBの製作による“剣”。意外と重さがあります。